

(第1号様式)

『大学月額奨学金』『多子世帯向け奨学金』貸与申込書

公益財団法人秋田県育英会 理事長 様		平成 29 年 5 月 日	
下記のとおり記載事項に相違ありません。貴会の奨学金の貸与に、関係書類を添え 連帯保証人と連署をして申し込みいたします。			
フリガナ	印	※ 男・ 女	生年月日
本人氏名			平成 年 月 日
(必ず自署・押印のこと)			
奨学金 申込する	いずれかに○をしてください。 多子世帯向け奨学金は、3人以上子どもがいるご 家庭が対象です。		※ 大学月額奨学金 ・ 多子世帯向け奨学金 ・ 両方
	(上で「両方」を選択した方のみ) 月額貸与奨学金と多子世帯向け奨学金の両 方に採用となる場合は、どちらの貸与を希望 しますか。		※ 大学月額奨学金 ・ 多子世帯向け奨学金
現住所(住民票を移していない場合も実際に住んでいる場所の住所を記入) 〒 ー		電話番号 ー ー	
フリガナ	印	※ 男・ 女	生年月日
連帯保証人 (親権者・ 自署押印) (続柄:本人の)			昭和 年 月 日
住所 〒 ー		電話番号 ー ー	
日中の連絡先(必ず記入してください) ー ー		※ 携帯 ・ 職場 ・ その他() ※ 父 ・ 母 ・ その他()	
在学学校	大学 (自宅 ・ 自宅外)	学部(短大の場合学科)	
国立私立 の別	※国公立 ・ 私立	修業年数	※ 6年制 ・ 5年制 ・ 4年制 ・ 3年制 ・ 2年制
		在学期間	平成29年4月から 平成 () 年3月まで 在学予定
出身校	小学校卒業		高等学校卒業
	中学校卒業		(高卒認定の方は○をしてください) 高卒認定
家庭 状 況	【生活状況その他特別な事情等がある場合に記入してください】		

※の箇所は該当するものを○で囲むこと。

本人と連帯保証人は各自自署し、印鑑は別々のものを使用してください。
鉛筆、消せるペン、修正液等は使用しないでください。

家 族 調 書

同 生 計 の 家 族	申込者	続柄	氏 名	年齢	職 業 (会社名及び自営の方はその旨)	収入金額 万円	所得金額 万円	
		本人					通学別 (自宅・自宅外) 兄弟数(家族調書に書かない兄弟も含む数) ____人兄弟姉妹の____番目	
就学者を除く家族	父							
		28年1月～現在までに就・転・退職 どちらかに○(あり →別紙1等添付・なし)						
	母							
		28年1月～現在までに就・転・退職 どちらかに○(あり →別紙1等添付・なし)						
欄が足りない場合は、一行に2名記入する等、全員分をご記入ください。						父母の所得金額合計		
就学者(本人を除く)	続柄	氏 名	※ 設置者	※ 通学別	※ 就学者控除	控除額 万円		
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学			
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学			
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学			
			国公・私立	自宅・自宅外	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学			
所得から差し引かれる項目	本人の就学者控除							
	母子・父子世帯 → 当てはまる場合は上の「父」又は「母」欄を空欄としてください。							
	障害のある人がいる世帯 ※いずれかに○ はい の場合は障害者手帳の写しを添付				※(はい・いいえ)			
	主たる家計支持者が単身赴任している世帯 ※いずれかに○ はい の場合は家賃が分かる書類等を添付				※(はい・いいえ)			
	長期に療養を必要とする人のいる世帯 ※いずれかに○ はい の場合は確定申告書控え(第一表・第二表)の写しを添付				※(はい・いいえ)			
	火災、風水害、盗難等の被害を受けた世帯 ※いずれかに○ はい の場合はり災証明書等と28年中の被害額のわかる書類の写しを添付				※(はい・いいえ)			
	控除額の合計							

太枠内は記入しないでください。

※の箇所は該当するものを○で囲むこと。

以下の欄には記入しないでください。

所得金額	万円	就学者等 特別控除額	万円	認定所得額	万円
世帯人員別収入基準額		人		成績	